

【山城・相楽郡】

## 古代・恭仁宮と日本茶の風景



京都府南部は、宇治茶の一大産地です。本コースでは、お茶にゆかりの深い寺院を訪れ、茶問屋街の町並みを散策するなど、日本茶を堪能するコースです。

道中、約1300年前にこの地につくられた宮跡を訪れ、悠久の歴史に思いを馳せます。

和東・石寺の茶畑

### 行程

※行程は予告なしに変更することがあります

8:45（集合）	京都駅八条口 貸切バス乗降場	-----貸切バス-----
9:45 - 10:30	上粕茶問屋街 見学	-----貸切バス-----
10:40 - 11:40	府立山城郷土資料館 見学	-----貸切バス-----
11:50 - 12:20	恭仁宮跡 見学	-----貸切バス-----
12:40 - 13:40	昼 食（和東荘）	-----貸切バス-----
14:00 - 15:15	和東・石寺の茶畑 見学	-----貸切バス-----
16:10 - 17:10	萬福寺 拝観	-----貸切バス-----
17:40（解散）	京都駅	

**上粕茶問屋街**：山城茶業之碑が建つ上粕（かみこま）地域の一角には、今も約30軒の茶問屋が軒を連ねます。

**恭仁宮跡**：奈良時代8世紀半ばに、聖武天皇によって奈良の平城京より遷都し一時期都が置かれた場所。史跡には礎石が残るほか、近年の発掘調査によって宮の構造が明らかになってきました。

**和東・石寺の茶畑**：京都府の南部に位置する和東町は別名「茶源郷」とも呼ばれ、日本のお茶文化を発信する数少ない町。空にまで届くかのような「石寺の茶畑」の景観が有名です。

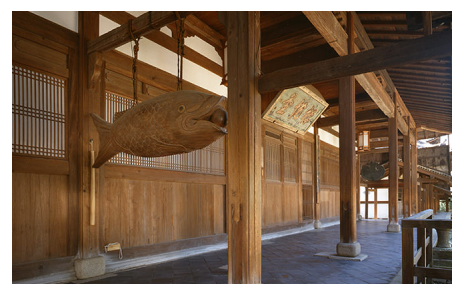
**萬福寺**：黄檗宗の大本山。建物や仏像の様式、儀式作法から精進料理に至るまで中国風で、日本の一般的な仏教寺院とは異なった景観を有する。17世紀初めに中国僧隠元が釜炒りの煎じ茶（揉み製）を日本に伝えました。



上粕茶問屋街



恭仁宮跡



萬福寺